



# 議会だより

かたしな

No. 125 平成22年 8月19日発行



PHOTO

武尊山山開きでのアルプホルン演奏

## 主な内容

副議長他就任あいさつ .....	2
6月定例議会で決めたこと .....	3~4
村政を問う 4名が一般質問 .....	4~7
視察報告 .....	8~9
議会活動日誌・編集後記 .....	10

# 副議長及び各委員会委員長が変わり

## 就任あいさつ



副議長 吉野 勲

このたびの6月定例議会におきまして、身に余るご推挙をいただき副議長に任ぜられました。

職責の重大さをかんがみたとき、果たして適切にその職をこなしていけるのかどうか、一抹の不安を感じているところではありますが、お任せをいただいた以上、誠心誠意その仕事にまい進したいと考えております。

中央では民主党政権が誕生しましたが、まだまだ地方自治体を取り巻く環境は楽観を許さず、その意味を、注意深

く見守っていかねければなりません。

当村においてもさまざまな諸問題が山積しており、議会のあり方や役割がますます問われてきております。

小さくても輝く片品村発展のために、議会はどうかあるべきなのか。その役割と意義を常に村民の目線で考えていかなければなりません。

何よりも村民の幸せのため、職責を果たしていく覚悟でありますので、各位の一層のご指導ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。就任に当たりましてのごあいさつといたします。



議会運営 委員長 星野 完治

この度、6月定例議会において議会運営委員会委員長に就任いたしました。

依然として厳しい財政状況であります。村民が安心・安全に生活できますよう努力する所存でございます。

これからも皆様のご指導ご協力をお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。



総務文教常任 委員長 笠原 耕作

この度、6月定例議会において総務文教常任委員各位のご推挙により委員長に就任いたしました。

厳しさを増す経済状況の中、片品村を取りまく環境も、好転をしてほしいと切に願うところであります。

委員会所管の事項に対して微力ながら職責をはたす所存でございます。

皆様のご指導ご協力をお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。



観光産業常任 委員長 高橋 正治

残暑厳しい折柄、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、6月定例議会において観光産業常任委員長に就任させていただきました。

依然として長引く経済不況により、農業を始め観光・林業を基幹産業とする本村においても多大な影響を受け、取りまく環境は一段と厳しさを増しておりますが、恵まれた資源を最大限に生かし、活気ある豊かな住み良い村づくりのため鋭意努力しなければなりません。

今後とも皆様のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。





# 6月定例会

6月8日(火)から14日(月)までの7日間の会期で開催しました。22年度一般会計・特別会計補正予算案を含む議案31件、人事案件2件が上程され、原案のとおり可決しました。初日の一般質問では4名が登壇し、村の姿勢を問いました。

## 条例の制定・一部改正

◎職員の子児休業等に関する条例の一部改正

育児休業等の福祉に関する法律の一部改正及び地方公務員の子児休業等に関する法律の一部改正に伴い、片品村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正するものです。  
(全員賛成)

◎職員の子児休業等に関する条例の一部改正

育児休業、介護休業等、労働者の福祉に関する法律の一部改正及び地方公務員の子児休業等に関する法律の一部改正に伴い、片品村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正するものです。  
(全員賛成)

◎平成22年度片品村一般会計補正予算

既定の予算総額に、750万4,000円を追加し、歳入歳出予算を32億2150万4,000円にするものです。

歳入の主なものは、地方交付税、県支出金、繰入金、諸収入です。歳出の主なものは、庁用自動車購入費、小中学校のバス借上代、公営企業補助金等です。  
(全員賛成)

◎平成22年度片品村営観光施設事業特別会計補正予算

老朽化した尾瀬ロτζのボイラー修繕費用600万円を計上したが、現地再調査によって、配管工事の必要が

生じたため、280万円増額して880万円とするものです。  
(全員賛成)

◎物件売買契約の締結

消防小型動力ポンプ付積載車の購入が次の通り議決されました。  
契約金額  
8,977,500円  
(指名競争入札)

契約の相手方  
前橋市(株)佐藤工業所  
なお、配置分団は第一分団の予定です。  
(全員賛成)

◎報告第1号 平成21年度片品村一般会計繰越明許費繰越計算書について

防災情報通信設備整備事業他17事業を、平成21年度から22年度に繰り越して実施するこ

とについて、総額3億2,096万5,000円の繰越計算書を調製するものです。  
(全員賛成)

## 人事

◇片品村公平委員会委員の選任

片品村公平委員会の委員、須藤照義氏の任期が、平成22年8月16日に満了になりますが、引き続き同氏にお願いするものです。

◇人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員、小山倫太郎氏の任期が、平成22年9月30日で満了となりますが、引き続き同氏にお願いするものです。

◎発議第1号 議員定数及び議員報酬を検討する特別委員会設置について

提案理由 (大竹文夫議員)

現議会が発足して以降、議員定数と報酬について検討を進めてきましたが、未だ結論にいたっていません。任期が10カ月余りとなった現在、9月議会に向けて結論を得るべく特別委員会の設置を提案します。

村民に開かれた形で、議員が自らの責任で決めることが必要です。  
(全員賛成)

議員13名による特別委員会を設置、委員長に吉野勲議員就任

## こんな質疑がありました

質疑 (大竹文夫議員)

庁用自動車として、電気自動車を購入する目的は聞きたい。

ふるさと納税も使用しているが。

答 (村長)

CO<sub>2</sub>の削減のため、また空極のエコカーであることです。

ふるさと納税の一番の希望は環境でもありますが、イベントなどの活用、尾瀬高を含めた子供たちの環境教育に、役立てたい。

## 請願陳情審議結果一覧表

6月定例会において審議された請願陳情は、下記のとおり決定しました。

### 請 願

受理年月日	件 名	請 願 者	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
平成22年 2月16日	平成25年度開催の(財)日本中学校体育連盟全国中学校体育大会冬季大会スキー大会の誘致並びにクロスカントリーコース整備に関する請願	片品村スキー場連絡協議会 会長 星野 寛 ほか	萩原 日郎	総務文教	趣旨採択 (クロカンコース整備)
	請願要旨前段の大会誘致については、平成20年5月に群馬県中体連から開催要請があり、同年10月に開催についての返事を条件付きで回答しています。 また、クロスカントリーコース整備についての趣旨は理解できるが用地選定確保などさらに調査が必要なことと、施設の管理と活用についても検討協議が必要であるという意見でした。				

### 陳 情

受理年月日	件 名	陳 情 者	審議結果
平成22年 6月7日	核も戦争もない平和な21世紀を築くための2010年非核 平和行進要請書	2010年非核平和行進群馬実行委員会 代表 猪上輝雄 ほか7名	議員配布

9月議会に全額助成を提案したい

◆三ワクチン（ヒブ・肺炎球菌・子宮頸がん）の接種に助成を



飯塚 美明 議員

村政を問う  
4名が一般質問



総合検診の様子

**問** 次の三つの予防ワクチン接種について公費の助成で対応できないでしょうか。  
まず小児性髄膜炎を予防するヒブワクチン、二つ目が高齢者の肺炎



を予防する肺炎球菌ワクチン、三つ目は最近若い女性で増加し、年間3500人が亡くなっている子宮頸がんを予防するワクチンの三つです。

これらのワクチン接種を公費で助成する動きが県内も含めて全国の自治体で始まっています。

**答** (村長)

ヒブワクチンの接種対象者は生後2か月から5歳未満で、接種の回数が年齢によって1〜5回と異なり、料金は1回7千円程度です。村の対象者は109人で、村費補助で受けられるよう検討したい。肺炎球菌ワクチンは80種類以上ある肺炎球菌のうち23種類に対して免疫をつけることができます。料金は7〜8千円です。村の対象者は、仮に65歳以上とすると1488人ですが、村の補助で予防接種を行います。

子宮頸がんはウイルス性で性交渉により感染しますが、20代後半から30代で発症するがんの第1位です。予防接種は半年の間に3回行い、総額4万5千円程度です。

対象者は10歳以上の女性で、小学生か中学生か、また個別接種か集団接種か検討が必要です。このワクチンも村の補助で接種を受けられるようにしたい。昨年は新型インフルエンザ予防接種に補助金を出しました。予防医療は医療費の削減にもつながります。

**問** 実施の時期は、肺炎球菌ワクチンは冬前に、ほかの二つとも早急に対応してもらいたい。

**答** (村長)

間に合えば9月議会に予算を計上したい。村の財政基盤も強化されていると判断していますが、どこまで公費助成ができますか。

**答** (村長)

村民の命を守るためです。低負担・高福祉の意味で三つとも全額補助で考えています。

萩原 日郎 議員



### ◆クロカンスキーのコース整備を

### 適地があれば調査費をつける

**問** 一昨年、県中体連事務局と県スキー連盟から平成25年度の全国中学校スキー競技会受け入れの申し入れがありました。受け入れについてどうなっていますか。

クロスカントリースキーのコース整備について、民宿旅館組合から候補地が提案されています。候補地の調査・検討をできませんか。



視察を行った十日町クロカンコース

**答** (村長) 全国中学校スキー競技会については20年5月に正式に要請があり、村としては大会を運営するスキークラブや協会などの関係者の意向を尊重するというところで、協議しました。結論としてはアルペン競技は可能だが、クロスカントリー・ジャンプの2競技は不可能と回答しました。クロスカントリースキーのコース建設は広

大な敷地や降雪量、費用対効果の問題があります。この条件にあう場所と地域の協力という点で、かなりハードルが高いと考えています。

**問** 施設の整備は自治体の負担になるが、競技運営は競技団体やスキー連盟が協力するので不可能という表現はさけてほしい。

クロスカントリーのコース整備について、観光協会の総会で村長は取り組むと表明しています。

**答** (村長)

クロスカントリーコースは適地があれば調査費をつけて取り組みます。

**答** (教育長)

競技役員の人数はアルペン・クロスカントリーで各300人、ジャンプで200人位が必要と思われます。村外の関係者に競技役員をお願いすることになります。その場合、宿泊費等で多額の費用が想定されます。

笠原 耕作 議員



## ◆特別職給与の削減はいつ

## 早い時期に

**問** 昨年の村長選挙で公約した特別職給与の削減はいつ行うのですか。

将来を見据えての全産業分野にわたる政策を聞きたい。

**答** (村長)

特別職の報酬削減はマニフェストには載せませんでした。村長の報酬は削減したいと考えています。

ただ提案するためには議会について疑問があります。それは昭和村や川場村に比べて議

していませんが、早く削減できるように力を貸していただきたい。

**問** 議員報酬や定員の削減があれば、ということですか。

**答** (村長)

それは議員が判断してもらいたい。

**問** 県から特別職の報酬が低すぎる文書指導が来ているのですか。あるのだったら開示してください。

**答** (村長)

人口比率による基準の数字が示され、片品は村長は低く、議会は高いということです。

**問** 議員と村長の報酬比較ではなく、ここに書いてあるので支持した方もいるのでは。

**答** (村長)

早い時期に、村長報酬は削減したい。

**問** ここに頒布責任者、印刷責任者も書いてあります。

**答** (村長)

その文章を私は把握



利根沼田消防ポンプ操法の応援



星長 命議員



### ◆村内で人工透析ができる施設の誘致を

### 実現に向け最大限の努力をする

**問** 透析患者は週に3日、通院をしなければなりません。仕事を持ちながら治療を行う者にとりましては、時間の制約もあり、高齢者も多く、往復の時間や治療時間を含めると大変な疲労となり、体力的にも大きな負担をきたしております。

**答** (村長) 片品では、20数名の方が沼田市等の病院で透析を受けております。それに費やす時間や費用を考えると、大変なご苦労をされていることは十分に承知をし

ております。5月の下旬に透析を受けている方や家族の方から、質問の趣旨にある内容で村へ要望書をいただきましたので、透析を実施している3病院のうち利根中央病院やほかか病院へ趣旨に添ったお願いに行つてまいりました。

したが、医師不足のため要望に添えない旨のお話がありました。しかし、群馬県においては、透析に対する全県的な懇談会が発足してあるとお話し、伺いましたので、群馬県に対してもいろいろとお願ひに行くことも考えております。



人工透析機

だお願いにいつておりませんが、近中にはお願ひに向向く予定でおります。

透析を受けている方や家族の方々の切実な思いに対しまして、実現に向けて最大限の努力をいたします。

### 透析とは

慢性腎不全により尿毒素に汚染された血液を、この人工透析機できれいにし、体内に戻す方法です。

## ● 第4回

### 臨時議会開催

■ 平成22年8月2日

#### ◇ 物品売買契約の締結

\* 契約の目的

□ 1台  
□ 1台

\* 契約の方法

指名競争入札

\* 契約金額

22,155,000円

\* 契約の相手方

□ マツ建機販売(株)  
新堀カンパニー

#### ◇ 片品村公平委員会委員の選任

片品村公平委員会委員  
星野武治氏の死亡返任により  
星野宏彦氏にお願いするものです。

# 報 告

## 区長会と合同現地視察



武尊牧場東俣駐車場での集合写真

6月3日村道7号線について合同で現地視察を行いました。この視察は、議会と区長会とで情報交換を兼ねての懇談会を年2回、3回実施している中で行ったものであります。村道7号線は越本(片品スキー場)から東俣を経由して花咲に通じている道路です。昭和40年代から50年代に木材の搬出と林地の整備に活躍した林道でした。その後路面

等の整備を行い村道として観光の振興にも活用してきました。しかしながら、年数の経過とともに舗装面、法面、ガードレールとも老朽化が著しく安全対策のうえから現在是一般車両については通行止めにしてあります。毎年整備を行っていますが、整備にはまだまだ多額の費用を要するため、今後の対応等について参考とするべく合同で視察を行ったものです。

## 国・県(出先機関)の平成22年度事業概要説明会



事業説明会の様子

平成22年度国・県(出先機関)の事業概要についての説明会が、区長会との合同で6月3日(木)役場2階で開催されました。国土交通省から丸山片品出張所長、沼田土木事務所からは須田鎌田事業所長、環境省から速水保護管に、それぞれ事業概要並びに直面している課題及び対策等について説明をしていただきました。

丸山所長から越本床固群、摺床固群工事、仁加又川流域砂防整備工事。須田所長から国道120号整備事業として6事業、国道401号の整備事業として3事業、水上片品線の整備事業として1事業、砂防事業として1事業、代行事業として御座入橋整備事業の説明を受けました。また、この中には尾瀬大橋先の所に車が通

ると夏の思い出の曲が流れるメロディライオンが整備されますので完成が楽しみです。また、速水保護管から、尾瀬国立公園における二ホンジカの生息状況と対策についての説明を受けた後、活発な意見交換がなされました。何れの整備事業とも、村民の安全と安心の村づくりが必要不可欠でありますので事業の進捗について特段のご協力をお願いします。尾瀬については、1990年代半ばにシカの生息が確認されて以来、生息数の増加や生息域の拡大に伴い、湿原植生を中心にシカによる攪乱が顕在化し、尾瀬の生態系に回復不可能な影響が及ぶ可能性があります。関係機関と「尾瀬国立公園シカ管理方針」を策定し、連携を図りつつ、捕獲の実施や尾瀬への侵入を遮断する柵の設置、より効果的な対策を行うための各種の調査と対策を行っているところですので大切な尾瀬を守るために皆様のご協力をお願いします。



# 視 察

## 尾瀬大橋下が整備されます



尾瀬大橋下公園整備の状況

尾瀬大橋下は、尾瀬大橋の建設に伴い周辺整備の目的のもとに所有者の協力をいただき用地の取得をしました。土量の不足により、長年土捨場用地として利用されてきましたが、この度待望されていた多目的グラウンド及び公園として整備されます。整備には多額の費用

を要しますが、一昨年沼田土木事務所鎌田事業所が仮（下）整備の協力をしてくれましたので、本年度片品村で日本宝くじ協会並びに水力発電施設周辺地域交付金からの助成をいただき整備を行うものです。整備内容については、南側を公園として平坦

に整備し、年少者から年配者までを対象に、外周は低木による植栽で来園者の安全を確保したものです。子供が楽しめる遊具を始めオヤマザクラ8本、野外灯3基を整備し橋梁と山並みの景観を楽しめるよう配慮してあります。

また、中央には33台分の駐車場と休憩所兼トイレを設置してあります。東側にはソフトボールコート及びグラウンドゴルフができる広場となり、外周は耐雪型のフェンスを使用し球の場外への逸脱を防止し、休憩用ベンチも設置予定です。

なお、遊具については子供たちからの要望に答え、年々増設していくそうです。早く完成をしお年寄りから小さな子供たち大勢で楽しめる施設となりますよう皆様のご協力をお願いします。

## 完成を待ち望む御座入橋



建設中の御座入橋

昭和40年に建設された御座入橋は老朽化が進んでいるため、現在関係者のご協力と努力により新しい橋を建設中です。

御座入橋は、国道120号と御座入集落を結ぶ幹線村道、観光スキーシーズン等の国道120号の渋滞及び緊急時の迂回路並びに小中学校への通学路として位置づけられています。

現在の橋は、幅員は狭小であり、自動車の相互通行が不可能であり、交通の難所となっており、そのため早急に架け替えが必要です。

また、この路線は、片品村の産業基盤及び生活環境の向上に極めて重要な基幹村道として「片品村山村振興計画」に位置づけられているので、群馬県（沼田土木事務所鎌田事業所）が、市町村代行事業として、幅員6.5m、橋長117mの新しい橋を建設してくれるものです。

（完成年度H23年）地元の御座入地区では、1日も早い完成を願い、建設促進委員会を組織して、建設に協力しています。

## 議会活動日誌

## 5月

- 16 婦人会ミニバレーボール大会  
 “ 区対抗ソフトボール大会  
 18~19 全国町村正副議長研修  
 21 尾瀬山開き  
 25 議長杯グランドゴルフ大会  
 25~26 群馬県町村議長・事務局長研修  
 27 社協理事会  
 “ 社協評議員会  
 30 県民スポーツ祭オープニング大会  
 31 議会運営委員会  
 31 議会全員協議会

## 6月

- 1 片品村小中教育研究会総会  
 3 区長と議会との懇談会  
 4 武尊山山開き  
 6 利根沼田消防ポンプ操法競技会  
 8 議会定例会  
 10 総務文教常任委員会  
 “ 観光産業常任委員会  
 14 定例会  
 20 白根山山開き  
 22 120号期成同盟会総会  
 23 老人クラブ連合大会

## 7月

- 1 至仏山山開き  
 2 少年の主張尾瀬大会  
 “ 議員定数・報酬特別委員会  
 6 議会だより編集委員会  
 20 群馬県総合計画策定利根沼田地域懇談会  
 21 議会だより編集委員会  
 22 利根沼田広域市町村懇談会  
 29 国道401号期成同盟会  
 “ 国道120号椎坂バイパス陳情  
 8月  
 2 議員定数・報酬特別委員会  
 “ 臨時議会

## お知らせ

## 次回定例会

9月7日(火)~17日(金)の予定です。  
 一般質問は、7日の予定です。

議会だより・会議録がホームページで見られます。  
 URL: <http://www.vill.katashina.gunma.jp/>

みなさんの傍聴を  
 お待ちして  
 います。

問い合わせ  
 TEL 58-2119

## 編集後記

長い梅雨が明けました。このような被害が毎年もたらされるのでしょうか？  
 大きな気候変動が進行しているのでは、と大変心配です。  
 心配といえば参院選の結果です。勝者なき与党の敗北、菅政権には国民の負託に応える責務があります。老若男女、村民の汗と知恵だけが頼りの時代でしょうか。

【大竹 文夫記】

発行

片品村議会

発行責任者

入澤 登喜夫

編集委員

◎ 大竹 文夫  
○ 星野 千里

星野 完治

星野 長命

吉野 正治

高橋 登喜夫

印刷所

笠原印刷有限公司